

▲児童たちに読み聞かせを行う町図書館職員

■甲佐小児童が図書室を見学  
10月13日(金) 甲佐小学校(谷川裕明校長)の2年生38人が図書室見学に訪れました。

児童から、図書室の蔵書数や仕事の内容、本はどこから届くのか、おすすめの本は何かなどの質問がたくさんあり、図書室への関心の高さを感じました。その後の絵本の読み聞

町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜  
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



かせも、とても楽しんでいる様子でした。見学に参加した木村和瑚さん(横田区)は、「本が図書館流通センターから届くのがわかりました。たくさん本を読みたいと思いました」と感想を伝えてくれました。

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●日時

12月14日(木) 午前10時30分～

●会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター・図書室内)

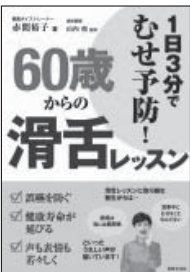
## 新着図書紹介

### 一般図書



子どもと楽しく学ぶ片づけの教科書  
清水 麻帆 著 / Gakken

小学6年生のときに母とおなじ整理収納アドバイザー1級の資格を取得した娘が、家族と一緒に学びたい片づけの基本メソッドを解説。子どもの年齢に合わせた整理収納のポイントを、年齢別のお悩みケーススタディとともに紹介。



60歳からの滑舌レッスン  
赤間 裕子 著 / 世界文化社

1日たった3分で口腔機能が向上!むせや滑舌が気になるシニア世代に向けて、準備編・あいうえお編・早言葉編の3つのステップで取り組む滑舌レッスンを紹介。口まわりの筋肉を動かし、咀嚼力や嚥下機能を高めましょう。



知りたいことがぜんぶわかる!新NISA & iDeCoの超基本  
酒井 富士子 著 / Gakken

つみたて投資枠、成長投資枠とは?生涯投資枠1800万円はどう使う?どんな銘柄を買えばいい?新NISAとiDeCo、2つのお得な制度を上手に使いこなすワザを紹介。基礎知識から手続きの流れ、商品選びまで、初心者向けに徹底解説。

### 児童書



パンどろぼうとほっかほっか  
柴田 ケイコ 著 / KADOKAWA

やぎのおばあさんの頼みで、パンを届けに出かけたパンどろぼう。なかなか辿りつけずにいると、1台の車が通りすぎ…。ほっかほかのパンとほっかほかの思いをのせて、ほっかほっかが走りだす!「パンどろぼう」シリーズ第5弾。



世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん  
十河 孝男 文 本田 亮絵 絵 / 合同出版

転びやすい人、左右の足のサイズが違う人、足に障がいがある人…。くつで困っている人がたくさんいると知った十河さんは、ひとりひとりに合ったくつを作ろうと決心し…。子どもと一緒に「共生社会」を身近に考える絵本。



ふしぎ駄菓子屋銭天堂 20  
廣嶋 玲子 著 / 偕成社

その駄菓子屋は、幸せと不幸のわかれ道。女主人・紅子が今日もお客さんの運命を駄菓子で翻弄する…。【どっちウォッチ】「リメンバーチョコバー」「満足缶」など、駄菓子屋「銭天堂」を舞台にした不思議なお話全7編を収録。

# 公民館 だより

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

## ▶自主文化事業のお知らせ

### クリスマスコンサートを開催します

- 開催日時 12月16日(土) 午前10時30分
- 会場 町生涯学習センター・ホール
- 入場料 無料
- 出演 KMA(熊本ミュージックアーティスト)

## 令和5年度公民館主催講座 ステップアップ講座を開催



▲森田さんからチョーカー作りの説明を受ける参加者の皆さん

甲佐町公民館では、町民の皆さんの教養の向上や、健康の増進を目的に公民館主催講座を開催しています。

10月30日(月)町生涯学習センター・研修室で、町公民館主催講座「ステップアップ講座」が開催されました。

森田光樹子さん(熊本市)を講師に迎え、地域住民ら10人がチョーカー作りを体験。チョーカーとは、長さ35センチ～43センチほどの首にぴったりと付くタイプのネックレスのこと。参加者は森田さんの指導を受けながら、好きな色の羊毛を3個丸め、糸で繋ぎ合わせた後、首ひもに金具を取付け、オリジナルのチョーカーを作りました。

完成したチョーカーを首に掛けた参加者たちは、お互いの作品を見比べながら感想を述べ合いました。

講座終了後、参加者は「家に帰って、また挑戦します」と笑顔を見せました。

## 人権 心豊かに暮らすために

### 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

#### ■上益城郡内で第51回熊本県人権教育研究大会が開催

10月21日(土)・22日(日)上益城郡内18会場で熊本県人権教育研究大会が開催されました。上益城郡内で開催されたのは12年ぶり。本町では、各小中学校が会場となりました。

1日目は大会テーマ「部落差別の現実から深く学び人間を尊敬し、人と結び、豊かな関係に高めうる教育の営みへ」と地元テーマ「だっでんいっしょだっでんいっしょ みんなみんな大切な人」思い合い分かり合いつながる社会を「上益城の地から」の下、劇団「天然木」による演劇「小さな水俣展」や児童心理治療施設「こども・E・Cセンター」松本祐一郎施設長による講演が益城町を主会場に行われました。

2日目は、上益城郡内18会場で分科会が行われました。益城町総合体育館で行われた特別講座では、甲佐小学校の山下直子先生が「わたしを育ててくれた子どもたち」と題し、御船町の小学校での出会い、悲しい別れをとおし

て、自らも学び子どもたちに育てられたことなど、郡内小学校での経験を基にした報告がありました。

本研究大会では上益城郡をはじめとした県内の多くの参加者が、部落差別(同和問題)をはじめ、あらゆる人権問題について学ぶ貴重な機会となりました。

●お問い合わせ先  
町社会教育課

☎096・234・2447  
(内線327)



▲益城町総合体育館で行われた熊本県人権教育研究大会